

水のいろ、水のかたち展

Water in Crafts and Design: Color, Form, and Texture

2023年7月7日〔金〕－9月24日〔日〕



開館時間：午前9時30分～午後5時30分

夜間開館：7月14日（金）～8月12日（土）の金曜土曜は午前9時30分～午後8時

＊入館はいずれも閉館の30分前まで

休館日：月曜日（ただし7月17日、9月18日は開館）、7月18日（火）、9月19日（火）

観覧料：一般 300円（250円）／大学生 150円（70円）

＊（ ）内は20名以上の団体料金および割引料金。＊いずれも消費税込。

＊オンラインによる事前予約もあり。

＊高校生以下および18歳未満、65歳以上、MOMATパスポート・学パスをお持ちの方、友の会・賛助会員の方、MOMAT支援サークルパートナー企業（同伴者1名まで、シルバーパートナーは本人のみ）、キャンパスメンバーズ、障害者手帳をお持ちの方と付添者（1名）は無料。

○割引対象：石川県立美術館・金沢21世紀美術館・石川県立歴史博物館・

石川県立伝統産業工芸館（いしかわ生活工芸ミュージアム）・

金沢市立中村記念美術館・金沢ふるさと偉人館の主催展覧会入場券半券を窓口で提示した方。

主催：国立工芸館

掲載用問い合わせ先：050-5541-8600（ハローダイヤル）



展覧会関連イベント

【「水の日」キャンペーン】

8月1日の「水の日」から4日間、受付で国立工芸館のSNSをフォローしていることがわかる画面を提示の方には国立工芸館オリジナルミネラルウォーターをプレゼント。その場でフォローもOK。

日時: 8月1日(火)～8月4日(金)
午前9時30分～午後5時30分

Twitter (@ncm2020)
Instagram (@nationalcraftsmuseum)
Facebook (@ncm2020.pr)

【ワークショップ】 要予約(各回5名)

「水の泡模様のやきものを作ろう」

水の泡模様を磁器に写して、オリジナルの一輪挿しを作成します。

講師: 高橋朋子氏(陶芸家)

主催: 兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会

日時: 8月5日(土) 各1時間

①午前10時30分～ ②午後1時～

③午後2時30分～ ④午後4時～

参加費: 1,500円

会場: 国立工芸館多目的室

* 詳細はホームページをご確認ください。

* 国内外の状況により記載内容に変更が生じる場合があります。

記者発表会・内見会

一般公開に先駆けて報道関係の皆さまのみの発表会、および内見会を行います。

7月6日(木) 午前11時30分～午後1時(受付開始 午前11時30分)

参加ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでご連絡ください。

次回展予告

2023年10月14日(土)～11月26日(日)
第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023
国立工芸館・石川県立美術館 共同開催
三の丸尚蔵館名品展(仮称)

皇室に伝わる美術品類は、上皇陛下および香淳皇后により平成元年に国に寄贈され、宮内庁三の丸尚蔵館で保存、展示公開されてきました。本展では同館収蔵品から、時代を代表する作品や石川ゆかりの工芸品を選びすぐり紹介します。隣接の石川県立美術館では絵画や書跡作品を中心に展示し、2館で1つの展覧会として開催します。

* 最新の情報はホームページをご確認ください。



海野勝珉《太平楽置物》
1899年 宮内庁三の丸尚蔵館蔵



国立工芸館

National Crafts Museum

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2

<https://www.momat.go.jp/craft-museum>

アクセス:

バスにて JR金沢駅兼六園口(東口)より

【北鉄バス】

3番乗り場: 18系統に乗車、「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」下車徒歩7分

7番乗り場: どの系統でも乗車可、

「広坂・21世紀美術館(しいのき迎賓館前)」下車徒歩9分

6番乗り場: 乗車(「柳橋」行を除く)、「出羽町」下車徒歩5分

車にて

北陸自動車道金沢西ICまたは金沢森本ICから20～30分。

近隣に文化施設共用駐車場(無料)があります。

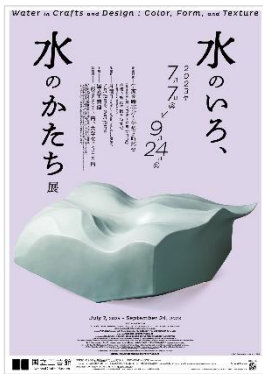


報道関係の方のお問い合わせ先

国立工芸館 展覧会担当/小島・岩井 広報担当/藤田・笹出・小島

Tel: 076-221-1955(広報直通) E-mail: kogeipr@momat.go.jp

広報用画像一覧



図版No.1 展覧会ポスター



図版No.2
深見陶治《初めての航海》1975年
国立工芸館蔵
撮影：野村知也



図版No.3
生野祥雲斎《竹華器 怒濤》1956年
国立工芸館蔵
撮影：米田太三郎 ©1984



図版No.4
芹沢銈介《紬地型絵染のれん 滝》
1962年
国立工芸館蔵
撮影：米田太三郎 ©1980



図版No.5
近藤悠三《染付山水文大皿》1962年
国立工芸館蔵
撮影：エス・アンド・ティ フォト ©2019



図版No.6
田口善国《水鏡蒔絵水指》1970年
国立工芸館蔵
撮影：大屋孝雄 ©2020



図版No.7
並木恒延《しじま》2007年
国立工芸館蔵
撮影：アローアートワークス ©2011



図版No.8
淡島雅吉《しづくグラスと水入れ》
1958年 国立工芸館蔵
撮影：藤森武 ©1995



図版No.9
エミール・ガレ
《草花文月光色ガラスデカンタ》
1867-76年頃
国立工芸館蔵
撮影：エス・アンド・ティ フォト
©2018



図版No.10
高橋朋子《蒼掌水指 Aldebaran》
2017年 国立工芸館蔵
撮影：エス・アンド・ティ フォト ©2019



図版No.11
須田賢司《楓造拭漆嵌装箱 湖上月夜》
2001年 国立工芸館蔵
撮影：エス・アンド・ティ フォト ©2019



図版No.12
岩田藤七《貝》1976年
国立工芸館蔵
撮影：斎城卓 ©2007

上記画像No.1～12を広報用にご提供いたします。ご希望の方は当館ホームページの画像提供システムよりお申し込みください。



<https://www.momat.go.jp/craft-museum/reproduction>

* 展覧会をご紹介いただける場合は、読者プレゼント用招待券(5組10枚)をご用意しております。ご希望の方は画像申請の際に「その他」欄よりお知らせください。